

17/3/21 名古屋市議会経済水道委員会メモ（名古屋市民オンブズマン作成）

藤沢ただまさ(自民・南区)：私の説明資料がない

市長に聞いてこい

審議望めるか 出直してこい

総務課長：担当から説明させてもらいたい

藤沢ただまさ(自民・南区)：説明がないとはなにか

資料で出せ いい加減だ おかしい

委員長：暫時休憩

委員長：至らぬ点があり、申し訳ございません。

局長：市長に確認したが、資料を出すという認識がなかった

総務課長：市長の考え

収支がとれると思っているが、収支がとれなくても進めるべきだと考えている。

今定例会で可決してほしい

藤沢ただまさ(自民・南区)：「仮に赤字になってもやるべきだ」

少しベクトルの範囲を広げたという理解でよいか

主幹：委員ご指摘の通り 私たちとしては収支がとれる見通し

仮に赤字になった場合 文化活性化のため意義深い

藤沢ただまさ(自民・南区)：昨年タウンミーティングでも、税金は一銭も使わない、

金儲けになる

「収支の問題ではない」

部長：意義深いためやっていきたい

藤沢ただまさ(自民・南区)：きちんとこの趣旨も発言してほしい

本市は、竹中工務店に対し、法的な責務を負っている

ご議決が遅くなった場合、優先交渉権者の地位を損なうおそれがある

主幹：当初は昨年7月契約

今回の審議 竹中工務店の責めに帰すものではない

藤沢ただまさ(自民・南区)：時がたつと負担になる、重荷になる

「地位を損なう」 優先交渉権者ではなくなる なぜか

主幹：立場がなくなるわけではない

今の段階ではご確認させていただき

2022年12月 ご理解いただいている

どこまでえられるかわからない

不確かなものになる

藤沢ただまさ(自民・南区)：竹中の負担、負荷がかかるということか

主幹：事業として推進する

竹中には待っていただいている 速やかに設計等に着手していただく

何かしらかの負担があると思う

藤沢ただまさ(自民・南区)：竹中の負担があるので負担を増す

「損なう」ではない

竹中さんが耐えかねるということか

所長：ご提案が昨年7月設計契約 時間的に長くなっている

延びる間いつでも契約できるように心づもり

信義誠実の原則 いつまでもご理解を得て続けるか確証がない

これ以上延びたらどうなるのか心配 思いとして述べた

藤沢ただまさ(自民・南区)：竹中がやりたいといっているのに地位を損ねるではなく、

御免被りたいということか

所長：その可能性がある

藤沢ただまさ(自民・南区)：「本市は責務を負っている」

議会は別人格

捉え方が違う

紙ベースで残ること

きちんと紙ベースで残してほしい

主幹：整理して、市長と相談して資料を提出する

藤沢ただまさ(自民・南区)：現天守閣は耐震が低い

「木造復元で耐震」一つの考え方

「木造復元こそ耐震対策」違う

3/6 木造復元 耐震対策

木造化されようとされまいと耐震対策

市長の発言は若干矛盾 捉え方が違う

「これしかない、はやくしてくれ」違うのは 3/6

所長：対策 耐震対策 木造復元も対策

解決策 木造復元という方針

安全対策 普段の管理で対策

木造復元を考えている

市長は1日も早く木造復元をしたい

藤沢ただまさ(自民・南区)：局長の答弁 木造されないときも安全対策

このものいいとしてはいかがなものか

局長：そのように答弁した

進捗 いろんなことがある ブレス対応
すんなり設計ができて、許可が下りればよい
緊急の対策も込めて答弁した
市長の発言と整合性はとれている

藤沢ただまさ(自民・南区)：整合性がとれているとは違う

今の工程表 現天守閣解体は H31 年度
入場制限はいつからか

主幹：H29.12月 石垣詳細調査 この時点で天守閣の入場ができなくなる可能性

藤沢ただまさ(自民・南区)：まだ8ヶ月ある このままでよいか

木造復元していいかどうか決まっていない
最後 議決 期は熟している
選挙が4月 次の市長の足を引っ張るべきではない
そのことについては

所長：今日の資料 いままで天守閣整備ご議論

基づいてこの議案については是非進めていきたい
選挙とは関わりなくご議決いただきたい

藤沢ただまさ(自民・南区)：少しいかがなものか

かつてストップアンドシンク
陽子線ストップ 損害賠償請求されている
市長の判断 身をもって感じている
何億円の損害賠償請求 足を引っ張る
河村市長 3ヶ月以内に亡くなるかもしれない
自らストップアンドシンク 損害賠償請求されている
自分はストップアンドシンク それでも次の市長の足を縛るのか
確認したか

所長：この議会までの審議を踏まえ、議会として判断してほしい

藤沢ただまさ(自民・南区)：「選挙に関わりなくしてほしい」 民主主義としてどうか

次の市長はストップアンドシンクができなくなる

所長：市長と相談して資料として出す

委員長：終結せず明日も審議

藤沢ただまさ(自民・南区)：市長の考え方 選挙の観点 収支がよくなくてもやる

新しい考え方
言ったことをくれぐれも忘れないでほしい
市長「絶対やる もうかる」説明してほしい

木下優(公明・中川区)：「木造が耐震」 木造復元だけが耐震対策ではない。

その1つ

曲との考え 現天守閣 耐震性が低い

耐震対策は他にもある

市長だから勝手に言えばいいのか

所長：耐震対策 名古屋城警備員増やす 防災訓練増やす

様々な対策を考えないといけない

「最終的な耐震対策 木造復元だ」市長と当局は一致

考え方が一致していないわけではない

江上博之(共産・中川区)：8ページ 協定書を結ぶ

竣工期限、事業費遵守

各締結 工事か

主幹：仮設工事、取り壊し工事 本体工事

実施設計契約 各種契約 予算成立が根拠

江上博之(共産・中川区)：すべて議会にかかるのか

主幹：予算要求にあわせて議会に上程

江上博之(共産・中川区)：議会の議決は工事契約か

主幹：予算の状況 各種工事予算と実施予算

工事の段階で6億円以上は議決

江上博之(共産・中川区)：今後の6億円以上の工事は何があるか

主幹：仮設工事 素屋根、乗り入れ

天守閣取り壊し工事

時期は進捗状況次第

金額が上がる場合、契約の議決が必要

木造天守閣 H32当初から着手予定

505億ならそのまま行くのか

主幹：設計を進めるなかで価格交渉を行う

505億の中で努力していく

江上博之(共産・中川区)：単に基本設計額を通すのではなく、全体を事実上決める

505億の問題 入場料でまかなう

「税金投入はしない」市民に説明 それが前提

今回の市長発言 市民に言ってきたことと違えていると思わないか

主幹：大前提としては入場者確保、収支がとれると思っている。

仮に収支がとれなかったときでも意義深い

江上博之(共産・中川区)：税金投入しないと切りができなくなっている

「法的な責務」とは

主幹：民法上の信義誠実の原則

丹羽ひろし(自民・名東区)：市民の声 16件と24件と4件だけか

主幹：全部で44件

丹羽ひろし(自民・名東区)：僕のところには20何件

関心ある人だけが関心を持っているのか

主幹：直接電話いただいている人も 市民の声と同じ傾向

関心が高い 厳しい声が多い 反対の割合が多い

賛成の方も

反対の声 一定程度賛成がいる

丹羽ひろし(自民・名東区)：アンケート調査の傾向とずれていない

新世紀名古屋城博

木造天守閣 営業日数は何日を考えているか

管理課長：共用期日 1/2-12/28 361日

丹羽ひろし(自民・名東区)：月曜日休みなし

写真みてもすごい人 5万人超えた

金シャチドーム タッチに180分

待つて怒る来場者はいたか

管理課長：たくさんの時間並んでいただく 当時勤務職員に聞いた

暑い中で疲れたという声もあった

丹羽ひろし(自民・名東区)：6/19 当時の職員に聞いたらかなり大変だった

職員が客商売向かない 対応が大変だった

1年間すごく影響される 雨、暑い、寒い

バスで来た 3時間待たないといけない 整合しない部分がある

主幹：360万人 1日平均1万人

土日平日 姫路城 一番多いとき 一定数さばききれると考えている

丹羽ひろし(自民・名東区)：すごく姫路城10年たっていない

名古屋城 少ないとき1000人入っていない

江上博之(共産・中川区)：市民の方 賛成の方

地上から45メートル 15階から16階 エレベーターは実質ない

あるいて行かないといけない

「そんなものですか」

展示物ないですよ 事実上がらんどろ

本丸御殿 スリッパ 姫路城 そうですか
木造化になると事実か

主幹：管理運営方法は設計の中で考えるが、考え方はその通り

江上博之(共産・中川区)：税金投入しないという前提

木造 郷愁があるが、現実には理解されていない
理解された上でやるべきではないか
ここまで来たら市民の審判を仰いでは

田辺雄一(公明・千種区)：昨日東京都議会 100 条委員会石原元知事証人喚問

トップの責任

行政の組織の中でボトムアップ 自分というものを決裁やってきた
手続きにのって上がってきたものを、合理的な理由もない以上決裁した
豊洲 ボトムアップで積み上がってきた
名古屋城案 契約手法、起債の方法
河村市長がほぼ独断でやってきたという理解
責任の違いは

所長：H26 年度までに調査結果 市長に報告

それ以降 H27.9 月議会 技術提案交渉方式で東京オリンピックにあわせて進めていく
市長と我々が相談していつている

田辺雄一(公明・千種区)：従来型の事業と大きく異なるのではないか

所長：従来型というのがあれだが、下から積み上がったものもあるし、

トップの方針もある
トップの方針は大きい

田辺雄一(公明・千種区)：100 条委員会

片山元知事発言 石原氏の責任もあるが、議会の責任もある。

議会にも大きな責任もある

東京都議会の人には全く自覚していないよう

議決は重い 慎重にすべき

今現在、名古屋市役所ではない別の役所 なかなか勝手では進まない

国が相手 国の捉え方 オーソライズされたものがあるのか

所長：文化庁にはなにか報告した

文化庁としては、名古屋市として基本設計ができてこう進めるとできてから
現段階では国が認知しているわけではない

田辺雄一(公明・千種区)：タウンミーティング費用、プロポーザル費用

あれをもって国が一步進めたわけではない
新国立と違って、設計と施工が分離されていない

設計と施工が一体化

名古屋市からは正式なものがでていない

竹中の提案 文化庁 コメントしていないのか

主幹：文化庁 提案内容概要は説明した

ご意見を具体的にもらってはいない

田辺雄一(公明・千種区)：正式なものがない以上、文化庁はいえない

文化庁「正式なものを出したら、これはとても許せない」

今は口を出さないのではないか。

資料9 ページ 中部地方整備局

2022年 いいとは言っていない

契約した場合、なにか言ってくるかもしれない

大いに心配

設計と施工が一体 この手法が名古屋城に適していたのか

評価委員の意見も聞いているが、あまりにもことが前に進まなさすぎる

所長：2020年7月オリンピックを目指す 仕様が定まらない

評価委員の意見を聞いた

一定の形で進んできたのでないかと認識

今後地元で有識者会議をもって、文化庁復元検討委員会の理解を

得られるような案を作っていくたい

田辺雄一(公明・千種区)：評価委員の人 議論の内容が見れば、おっかなびっくり部分ある

局面が進んだ場合、どう方向性が変わるのか

設計と施工を分離してもよいのでは

ようやく浮かび上がってくる

2022年12月

2万人アンケート報告書 議会報告書 アンケートはがき

今回ほど意見が様々あったのは珍しい

2020年7月賛成 22%

2022年にも賛成という理解か

主幹：1日でも早く

2020年7月に賛成なら2022年12月にも賛成

田辺雄一(公明・千種区)：2020年7月がなくなれば、いつでもよいという意見もある

「損なう」 不完全にする

負担がかかる、迷惑がかかるではない。

市長が言うのは今ひとつわからない

所長：信義誠実の原則に基づいて契約に話し合っていく

時間が延びればそのまま優先交渉権者ではなくなる可能性

田辺雄一(公明・千種区)：「地位を損なう」主語は誰か

竹中が自分の意思でとどまらないのか

所長：とどまることは一定の負担を生じさせている

主語は市

とどまらなくなる 市がこういう状態 おそれがある

田辺雄一(公明・千種区)：資料要求 わかるような書き方

河村市長の発言 主語述語がわからない

議会に言ってくる趣旨がわからない

業者さん気の毒

市民ファースト。業者ファーストではない。

いかなる損害が発生するとしても、市民の税金を守る必要がある。

「議決に熟していると思わします」 議決が最大の責務

議長副議長 議決をしかるべきとおっしゃったと聞いている

副議長会派として、副議長によく説明した

賛成・反対様々な意見がある。結論が出せないという意見もある。

賛成：減税 十分な意見が出てきていない

賛成反対いずれかの議決ができないことがある

副議長：よくわかった

中川貴元(自民・東区)：2年連続委員やっている人もいる

時間もたってきた

「議決に熟していると思わします」

無意味に、むやみに継続審議してきたわけではない

1-4 継続動議をだした

今議会も意見を出した

4つ目 第三者機関への調査依頼

相当数予算がかかる、日数もかかる

できる範囲で予測結果の評価 資料をいただいた

本当に第三者機関への調査依頼した場合、大体予算はいくらかかり、

日数はいくらかかり、いつ頃議会に議案を出すつもりか

主幹：金額 3000 万円 6ヶ月ほど

6月予算にあげて、順調で年明け

中川貴元(自民・東区)：この時期にこのような議論をしているのも実態

目の前に市長選挙があるのも事実

どなたが市長になれるかわからない

新しい市長になった場合、役所はある程度想定しないと

新しい方が市長になられて、「すこし考えさせていただきたい」

最短の6月補正 必ずしも今のスケジュール間

もし代わられたとき 足かせすることなく猶予期間を与えることは可能か

局長：仮定の話 市長が替わられたときは、新しい市長の指示に従う

中川貴元(自民・東区)：第三者機関の調査依頼 予算はまだ

今回予算を○にした場合 新しい市長 「考えたい」 ということが想定されるか

これは冷静に考えて、役所も新しい市長の命に従わないといけない

「ストップアンドシンクしたい」 どれくらい立ち止まって考えられるのか

今後ペケにした場合、

継続した場合も廃案になる

○にした場合、背負っての門出になる

期間はどれくらいあるのか

所長：可決いただいた場合、基本的に速やかに基本協定、基本設計

進み出す

そこでどれだけの期間 とまるとしたら体制を組んでおきながら動かない

工程が動いた分 損害が受託者にかかってくる

新しい市長がやめるといって契約解除

立ち止まるとその分は協議

中川貴元(自民・東区)：議決判断の際 その辺のことを踏まえて議決する必要がある

そんなこと聞いても とても大切なこと

どうなのか

局長：議会の責任 言葉があった

議会の責任 名古屋市の責任 議会に責任があるのではない

今回も予算 市長から提案 ご議決いただく

かえって新しい市長 どう引き継がれるか 行政としてプロジェクト

名古屋市として携わってきて、意義、手法研究 ここまで予算を上程した

新しい市長とも話し合う ストップアンドシンク そのときの損害 市長と相談

仮定なので想定していない

中川貴元(自民・東区)：損害発生しうるケース どういう場合か

当選した 少し考えたい

どういうケース すぐ発生するのか

所長：議決したらすぐに契約準備

契約をして設計する

ストップアンドシンク 長いと設計に携わる人が遊んでしまうので損害

ストップの期間が長くない、スケジュール通りなら損害は発生しない

中川貴元(自民・東区)：大体どれくらいか 3ヶ月くらいいいのか

どれくらいいいのか 皆さんの的に調べてほしい

弁護士等その辺もわかる範囲で意見交換

資料で出るなら出してほしい

所長：今日の明日でどれほどなのか 調整してみたい

藤沢ただまさ(自民・南区)：日立の件が参考になる

明日午前 10 時から